

今年の夏も猛暑が続き少しは朝夕涼しくなったようですが、あっという間に昼間の気温も上がり暑い日が続いています。まだまだ、**夏バテ・熱中症・食中毒・感染症**などに、油断ができません。さらに、夜や明け方に涼しくなってくると、夏の暑さに慣れていた体は、突然の気温の変化についていけず、体調を崩しやすくなります。環境温度に気をつけ眠る時の掛け物や発汗後体が冷えないよう気をつけましょう。

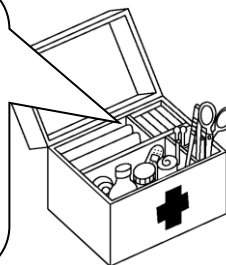
◇◇**お願い**◇◇9月は運動会に向けて運動遊びを中心に活動します。熱中症予防のため登園前には十分な食事と水分補給をして、多めのお茶の準備をお願いします。また、登園前、子どもさんの健康観察をお願いいたします。

8月の感染症 新型コロナウイルス第7波で全国的に不安な日々です。当園でも園児やそのご家族、職員や職員家族に陽性者が複数発生し家庭保育の協力をお願いしている状況です。オミクロン株は、潜伏期が約3日と短く感染翌日には感染力を持つと考えられています。この特性から家庭内感染を防ぐことは難しくなっています。各家庭で家族の体調を常に気にかけて頂き、こまめな手洗い・マスクの着用・3密を避ける・換気、などの基本的な感染対策を継続をお願いします。他に新型コロナウイルス感染と同時流行に全国的に警戒が必要とされているRSウイルス・手足口病の発症が当園でもあります。また、ヒトメタニューモウイルス感染症・突発性発疹の発症もありました。いずれも、子どもさんの重症化を避けるため、思い当たる症状がある時は、受診を控えないようにしましょう。

9月9日は救急の日です

救急用品の点検をしましょう。

救急用品の点検を！
絆創膏・ガーゼ・包帯。
綿棒・脱脂綿・ハサミ
体温計・ピンセット外
傷用薬品など。



※ **お願い** 園内で感染症の報告があった際、病名と感染症に対する説明を玄関に掲示しております。登降園の際、子どもさんの病気の予防と対策、また受診時のために、ご確認をお願いします。

園でよくあるケガについて

対策として： 保育所は、行動の結果を予測する事が難しく、危険認知度が未発達な子どもたちの生活の場です。安全対策を行い、少しの失敗で大丈夫な環境で活動することにより、危険を感じ、学び、より活動的で健康的になれるよう、また、遊びや生活を「目・声・手」の届く所での見守も努めています。危険な行為に対して目を合わせ、繰り返し言い聞かせることもあります。

※安全対策をしないままで「してはダメ」となって

しまうと危険回避力が育まれにくいでしょう。

園内で起きるケガは、

転倒による擦過傷（擦り傷）が多く、次いで

打撲（打ち身・こぶ）＝（頭・体・顔とくに口唇や歯）

稀に小さい子どもたちは、お友達同士で噛み付いたり

引っかいたりする事もありますが、いずれに対しても応急処置を行い、

その後の心のケアはスタッフ間で連帯をとり行っています。

ケガで緊急性のある場合は、電話で連絡を取る事となりますので連絡先が変わる場合は、お知らせ下さい。

応急処置についてご質問があれば、いつでもお尋ね下さい。

お願い お家でケガをされ、湿潤療法（キズパワーパッド等）のパットを貼付され登園される場合、汚れたり、はがれそうになった場合、傷が感染を起こす恐れがあるので、その後の処置について保育士や看護師にお知らせください。

こどもの靴について

★★足に合った靴で元気に遊ぼう★★

運動会、散歩、園外保育（遠足）など、動くことの多い

この時期、今履いている靴は子どもの足に合っていますか？

きつい、ブカブカ、まめができたということはありませんか？

子どもが大人と同じような歩行動作ができるようになるのに、10年近くかかると言われています。足の骨が形成される時期に、足に合わない靴を履かせると、発達を阻害し、変形したり扁平足になったりします。